

2017年11月14日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【少々気が早いのですが・・・】

少々気が早いのですが、今年も残り1カ月半です。

来週の11月23日(木)には、日本の「勤労感謝の日」が控えています。

米国のサンクス・ギビング・デー(感謝祭)は、毎年11月の第4木曜日です。

それで、たまたま、今年は、日本の「勤労感謝の日」と同じ日の11月23日(木)が、米国のサンクス・ギビング・デー(感謝祭)になります。

米国のサンクス・ギビング・デー(感謝祭)を過ぎると、マーケット(市場)は、クリスマスの雰囲気になっていきます。

今年の為替相場を振り返ってみると、ドル/円のレンジは、107円台~118円台です。

値幅としては、11円の振幅で収まっています。

年間のレンジで考えると、非常に狭い1年間だった、と言えます。

まだ、今年は終わっていないので、そのように言い切る訳にはいかないのですが、今年の残りの時間が、1カ月半であることを考えると、「107円台~118円台のレンジ」を、どちらかにブレイクして大きく動く展開は、期待できそうにない、と考えています。

このような狭いレンジの相場の場合に、ディーリング(売買取引)で利益を生み出すことは、非常に難しい、と考えます。

だから、今年の相場で、うまくいった市場参加者は少ないのだろう、と考えています。

+++++

高い技術を持っているプレイヤーは、あえて難しい相場に挑戦したくなるし、難しい相場を制した時の爽快感は格別なものです。

その気持ちは、理解します。

しかし、相場はゲームではないのですから、

『できれば、簡単な相場だけを相手にして徹底的に勝ち、難しい相場には手を出さずに損失を避けること』

それが鉄則だ、と考えています。

その鉄則に従うならば、今年は難しい相場だったのだから、あまり無理をせずに、損失を避けて、むしろ、来年に期待する方が良いのだろう、と考えています。

ドル／円の1年の平均変動レンジは、20円程度だから、今年の残りの1カ月半で、大きく変動するのではないかと期待する声も聞きますが、個人的には、クリスマス・シーズンの市場参加者の極端に薄い時期に、積極的なディーリング（売買取引）をすることは、リスクが高過ぎる、と考えています。

だから、少々気が早いのですが、むしろ、来年に期待する方が良いのだろう、と考える次第です。

+++++

(2017年11月14日東京時間15:10記述)